

御浜町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当地域は柑橘生産が中心で、全耕地面積に占める水田の割合は約23%と少なく、中山間地域に位置することから、狭小で不整形なほ場も多く、多雨地域であることなどから、主食用米以外の土地利用型作物が定着していない。また、農家の高齢化が進んでおり、経営規模も零細であることから、担い手が不足し、不作付地の拡大が進んでいる。

このため、主食用米の需要が減少する中で、新規需要米や収益性の高い他の作物の作付に転換を促進することで、水田面積の維持を図っていく必要がある。

2 作物ごとの取組方針

町内の約300ha（不作付地を含む）の水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

（1）主食用米

地域内流通が主体であるが、売れる米作りを基本とし、前年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ、米の生産を行う。

（2）非主食用米

ア 飼料用米

主食用米の需要減が見込まれる中で、飼料用米を主要な転作作物の一つとして位置づける。飼料用米の生産拡大にあたっては、地域内で実需者となる養鶏業の需要動向を勘案しつつ、需要に見合う作付けの拡大や**多収品種**の導入推進を図る。

（3）果樹、野菜、その他

地域特産の柑橘などに加え、地域内消費が主体である品目を幅広く地域振興作物とし、導入推進を図る。

（4）不作付地の解消

現行の不作付地（約37ha）について、今後5年間で約1割（3ha）を飼料用米や地域振興作物の作付により解消を図る。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 25 年度の作付面積 (ha)	平成 28 年度の作付予定面積 (ha)	平成 30 年度の目標作付面積 (ha)
主食用米	183.7	183.5	183.0
加工用米	0	0	0
備蓄米	0	0	0
米粉用米	0	0	0
飼料用米	0	8.5	10.0
WCS用稲	0	0	0
麦	0	0	0
大豆	0	0	0
飼料作物	0	0	0
そば	0	0	0
なたね	0	0	0
その他地域振興作物	50.6	50.9	50.9
野菜	8.2	8.2	8.2
花き・花木	2.4	2.4	2.4
果樹	39.7	39.7	39.7
雑穀	0	0	0
地力増進	0.1	0.3	0.3
景観形成	0.2	0.3	0.3
その他	0	0	0